



YANMAR

News Release

2026 年 1 月 15 日
ヤンマーホールディングス株式会社

新冷媒に対応した「GHP XAIR(エグゼア)IV」に ヤンマーの「M シリーズ」がラインアップ



<ガス空調システム「GHP XAIR IV M シリーズ」>

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマーエネルギーシステム株式会社は、新冷媒 R32 を採用したガス空調システム(GHP)として開発した「M シリーズ」を、「GHP XAIR(エグゼア)IV」※¹として 2026 年 4 月から受注を開始します。

「XAIRIV M シリーズ」は、GHPにおいて 2027 年 4 月以降の新設で義務化される新冷媒 R32 を採用することで、地球温暖化係数(GWP)※²を低減し、環境保護に貢献します。また、消費電力が電気ヒートポンプエアコンの約 10 分の 1 という節電能力を維持しながら、従来機と比較して運転効率を約 5% 改善することで、より一層の省エネルギー化を実現しました。さらに主力機種においては、「XAIRIV」の性能要件である年間エネルギー消費効率指標 APFp※³2.20 以上を達成しました。

本機は従来の GHP で対応していた都市ガスや LP ガスに加え、カーボンニュートラルな社会に貢献する次世代燃料の e-メタン※⁴にも対応しています。

■主な特長

- ・2027年4月より義務化される低環境負荷の新冷媒R32を採用(現行のR410A冷媒モデルも一部ラインアップ)
- ・年間を通じたエネルギー消費効率を示すAPFp(期間成績係数):2.20以上を達成
- ・都市ガスやLPガスに加え、次世代燃料のe-メタンにも対応可能
- ・2025年4月に設立した「パナソニック・ヤンマーGHP開発製造株式会社」で開発・製造し、開発リードタイムの短縮を実現

「GHP XAIR IV Mシリーズ」PV

https://www.youtube.com/watch?v=1FcjUzjr_8k

※1 エグゼアおよびGHP XAIR(ロゴ)は、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社の登録商標です

※2 GWP(地球温暖化係数):温室効果ガスが地球温暖化に与える影響の程度を、二酸化炭素を1とした相対値で表した数値

※3 APFp(期間成績係数):年間を通じたエネルギー消費の効率を表す指標。数値が大きいほど高効率であることを示す

※4 e-メタン:回収したCO₂と再生可能エネルギー由来の水素などを原料として製造される合成メタン。e-メタンを燃焼しても大気中のCO₂の量は実質増加しないため、カーボンニュートラル実現に貢献する次世代のエネルギーとして注目されている

【参考】

パナソニックとヤンマーがガスヒートポンプエアコン(室外機)の開発製造に関する合弁会社の設立で合意
(2024年8月30日発表)

<https://www.yanmar.com/jp/energy/news/2024/08/30/141553.html>

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHGフリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、「A SUSTAINABLE FUTURE—テクノロジーで新しい豊かさへ。—」をブランドステートメントとして掲げ、持続可能な社会を実現します。詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

【商品に関するお問い合わせ先】

ヤンマーエネルギーシステム株式会社
空調システム営業部 業務推進部
TEL: 06-7636-2101

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社
マーケティング部 コーポレートコミュニケーション部
E-mail: koho@yanmar.com